

平成 31 年度筑波技術大学入学式 学長式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これまで皆さんは保護者の方々や学校の先生方、周囲の方々に支えられ、多くの愛情ときめ細やかな教育を受け、本学入学に至りました。皆さんの多くが、筑波技術大学を第一志望として入学試験を突破すべく、努力してきたことと思います。この努力に報いるべく、筑波技術大学は教員、職員が一丸となって、皆さん一人ひとりの学修、研究を支援していきます。

さて、筑波技術大学は視覚や聴覚に障害がある人々のための大学です。昨今は本学以外の大学でも障害学生への支援が行われるようになっていますが、そうした一般の大学と本学では決定的に異なる部分があります。それは、本学が障害のある学生のための教育機関であるということです。

一般の大学では、障害学生の学修や学生生活上の不利益を補うことを「障害学生支援」と位置づけ、障害のある学生が他の学生と同じように、教育や研究に参加できるよう保障することを目指しています。

一方、本学は単にこうした不利益を除去するだけでなく、障害ゆえに潜在化しがちな学生たちの能力を引き出し、顕在化させるとともに、障害ゆえに習得しづらい知識や情報を意図的に付加したりすることで、障害のある学生一人ひとりが十分な成長を遂げられるよう支援する「教育」を行っているのです。そして、そのためにも、本学では、広く様々な分野の「情報」を吸収し、「知識、技術」として定着させるとともに、その知識、技術を体験や実感をともなった「智恵」に昇華させていくという教育の本質的役割を果たしていくことを、特に意識し、実践しています。このような学修を経るからこそ、学生は高度専門職業人として社会で活躍してゆけるのだと思いますし、それを目指し続けることが筑波技術大学の教育目標であり、特色です。

一方、学生の皆さんにとって大学は教育を受ける場であると同時に、卒業後に入る社会での自立に備えて自ら研鑽を積む場でもあります。このようなことを意識し、皆さんが卒業後、社会で活躍できる人材として羽ばたいていってもらうために心がけてほしいことを2つ述べます。

1つ目は、自らの意思に基づく決定をしてほしいということです。皆さんは本学入学を志すにあたって、自ら志望校を選択し、決定したという意識があると思います。しかし、皆さんの心の中にも「他の人に言われたから仕方なく本学を選んだ」という気持ちがあるとしたら、その気持ちは、今日この会場においていってほしいと思います。本学の中でも、あるいは卒業した後の社会生活、特に職業生活の場でも、これからの人生の中には大きな試練があります。しかし、試練は「自分で決定した道だ」という意識があれば、乗り越えられるものです。けれども、それが「誰かに導かれたのだから」という思いのままですと、困難な

状況に陥ったのも誰かのせいだと考えてしまうのではないのでしょうか。

皆さんの中に、もしこれまで親御さんや先生に意思決定をゆだねていたという人がいたら、大学入学を機に、自分のことは自分で決める、自らの手による意思決定をしていくことを選択してください。そしてそのためにも、幅広い情報を収集し、広い視野に立って意思決定を行えるような人になってください。

2つ目は、社会人として自立するための準備を始めてほしいということです。皆さんの多くは本学卒業後、修了後に就職という形で社会に出て行くことになります。今までは学校で教育サービスを受ける立場にあった人たちが、次は職業を通して、自ら社会に貢献する立場に代わるわけです。こうした移行を成功させるためには、受け身的な姿勢で何かを待っているだけでなく、自ら考え、動く姿勢が求められます。そして、こうした姿勢を身につけるためにも、与えられた場所から一步外へ踏み出し、社会との接点を持つような、そんな社会体験をしてほしいと思います。大学は、学修や研究が優先される場です。しかし同時に、本学での4年間ないし2年間は、自らの裁量で時間を使うことができる期間でもあります。この期間を十分に活用し、さまざまな活動に参加してください。本学では海外研修や他機関との連携事業など、さまざまな社会活動の場を提供しています。また、皆さん自身が自ら探して、参加できる活動もたくさんあるでしょう。こうした場で、社会と関わることで、自己の将来像、職業人として活動するためのレディネス、すなわち知識や経験を培ってください。

最後に保護者の皆様と、新入生を支えてこられた皆様へお伝えします。

大学に進学するほどの能力を身につけるまでに彼らをお育てになったことに、心より敬意を表します。わが子に障害があると分かった日から今日まで、様々なことがあったことでしょう。万感の思いで今日の日をお迎えになったことと拝察致します。

筑波技術大学は全力で彼らの能力伸長に努めます。

それと同時に、何か心配なことがあったときには、保護者や関係の皆様にもご相談やご連絡をすることがあるかもしれません。

どうぞ引き続きご子息、ご息女の成長を見守りいただき、社会的自立にお力添えをいただければ幸いです。

新入生の皆さん。大学4年間、大学院2年間はあっという間に過ぎ去ります。本日から気持ちを大学生、大学院生に切り換え、先ずは学業に精励してください。

以上、入学式にあたっての式辞といたします。

平成31年4月4日

国立大学法人筑波技術大学

学長 石原 保志